第3部 長崎県環境基本計画の進行管理

1 計画の概要

本県の環境保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、長崎県環境基本条例第9条に基づき、長崎県環境基本計画（計画期間：平成28年度～平成32年度までの5年間）を平成28年3月に策定しました。

本計画では、めざすべき環境像「海・山・人 未来につながる環境にやさしい長崎県」の実現に向け、4つの基本目標を掲げ、基本目標を達成するために共通する施策である「環境保全のための共通的取組」についても体系化し、施策を展開しています。

◎4つの基本目標

- 基本目標Ⅰ 低炭素社会づくり
- 基本目標Ⅱ 人と自然が共生する地域づくり
- 基本目標Ⅲ 循環型社会づくり
- 基本目標Ⅳ 安全・安心で快適な環境づくり

2 計画の進捗管理

(1) 進捗管理の方法

本計画の推進にあたっては、毎年度、計画の達成状況等について点検・評価（自己評価）し、庁内組織である「21長崎県環境づくり推進本部（幹事会）」において分析・管理を行うとともに、「長崎県環境審議会」へ報告し、意見・提言をいただくことで、進捗管理を行います。

本計画では、重点的に推進する必要がある施策に関して46項目の数値目標を設定しており、進捗管理はこの数値目標に係る達成状況の分析により実施しています。

なお、46項目の数値目標のうち19項目が「長崎県総合計画チャレンジ2020」の数値目標と同一指標であることから、評価方法について整合を図るため、長崎県総合計画における評価方法と同様とし、当該年度の数値目標の達成状況については、以下の区分（「達成」、「順調」、「やや遅れ」、「遅れ」）により評価しています。

<数値目標の達成状況の評価方法>

達成	最終年度の数値目標を既に現時点で達成したもの（累計ベースの指標のみ該当）
順調	当該年度の数値目標を達成したもの（「達成」に該当するものを除く）
やや遅れ	当該年度の数値目標を達成できなかったが、基準値と比較すると改善傾向にあり、かつ、目標値に対する実績値の割合（達成率）が70%以上のもの
遅れ	当該年度の数値目標を達成できず、基準値よりも実績値が悪化したもの。または、目標値に対する実績値の割合（達成率）が70%未満のもの

※達成率に関し、「累計ベースの数値目標（累計目標）」及び「削減することを目指す目標（削減目標）」

では、基準値からの伸び率（減少率）を示すため、 $(\text{実績値} - \text{基準値}) / (\text{目標値} - \text{基準値})$ 等により算出しています。なお、削減目標において実績値が基準値より増加した項目は達成率0%と表記しています。

※当該年度の実績値が算定中の場合は、直前年度の実績をもとに、「順調」、「やや遅れ」、「遅れ」のいずれかにより評価しています。

(2) 進捗状況の評価結果

平成29年度の各数値目標の評価結果を取りまとめたものを下表に示しており、個別の目標の評価結果については参考として55～61ページに示しています。

46項目の数値目標のうち、平成29年度の目標値を設定していないものなど7項目を除く39項目の平成29年度の進捗状況は、目標を達成したもの（達成・順調）が24項目（61.5%）、目標を達成できなかったものの、改善傾向にあるもの（やや遅れ）が4項目（10.3%）、目標を達成できず今後の進捗に課題があると考えられるもの（遅れ）が11項目（28.2%）でした。

基本目標等		数値目標数	評価可能数値目標数	達成・順調	やや遅れ	遅れ
基本目標Ⅰ	低炭素社会づくり	11	6	5	0	1
			(100%)	(83.3%)	(0.0%)	(16.7%)
基本目標Ⅱ	人と自然が共生する地域づくり	10	10	7	1	2
			(100%)	(70.0%)	(10.0%)	(20.0%)
基本目標Ⅲ	循環型社会づくり	7	6	3	0	3
			(100%)	(50.0%)	(0.0%)	(50.0%)
基本目標Ⅳ	安全・安心で快適な環境づくり	11	10	7	1	2
			(100%)	(70.0%)	(10.0%)	(20.0%)
共通取組	（行動と参画・協働の推進、各種施策の基盤となる施策の充実）	7	7	2	2	3
			(100%)	(28.6%)	(28.6%)	(42.9%)
合 計		46	39	24	4	11
			(100%)	(61.5%)	(10.3%)	(28.2%)

※各数値は四捨五入による端数処理のため内数の合計が100%にならない場合があります。以下同様。

(参考) 平成28年度の進捗状況

基本目標等		数値目標数	評価可能数値目標数	達成・順調	やや遅れ	遅れ
基本目標Ⅰ	低炭素社会づくり	11	5	4	0	1
			(100%)	(80.0%)	(0.0%)	(20.0%)
基本目標Ⅱ	人と自然が共生する地域づくり	10	9	7	1	1
			(100%)	(77.8%)	(11.1%)	(11.1%)
基本目標Ⅲ	循環型社会づくり	7	4	3	0	1
			(100%)	(75.0%)	(0.0%)	(25.0%)
基本目標Ⅳ	安全・安心で快適な環境づくり	11	10	5	2	3
			(100%)	(50.0%)	(20.0%)	(30.0%)
共通取組	（行動と参画・協働の推進、各種施策の基盤となる施策の充実）	7	7	2	1	4
			(100%)	(28.6%)	(14.3%)	(57.1%)
合 計		46	35	21	4	10
			(100%)	(60.0%)	(11.4%)	(28.6%)

平成29年度は「達成・順調」が全体の約6割を占めていること、また、「やや遅れ」の4項目はいずれも達成率が90%以上であり、ほぼ達成している（概ね順調）と考えられることから、これらの合計が約7割となるため、全体としては一定進捗が図られているものと考えています。なお、昨年度の結果と比較すると、「達成・順調」が全体に占める割合が1.5ポイント増加、「遅れ」が全体に占める割合が0.4ポイント減少であり、「達成・順調」の割合はほぼ横ばいでした。

また、基本目標別では、基本目標Ⅰ「低炭素社会づくり」、基本目標Ⅱ「人と自然が共生する地域づくり」及び基本目標Ⅳ「安全・安心で快適な環境づくり」においては当該年度の目標を達成した項目が多くみられましたが、基本目標Ⅲ「循環型社会づくり」と共通的取組「行動と参画・協働の推進等」においては「遅れ」の項目が多くみられました。

(3) 進捗に遅れがある項目の今後の対応方針等

進捗状況の評価結果として、進捗に遅れがある項目は次の表に示す11項目です。このうち、「当該年度の目標値を達成できず、直近の実績値が基準値よりも悪化したもの（①）」が8項目、「達成率が70%未満のもの（②）」が4項目（①の再掲として1項目含む）でした。

<進捗に遅れがある項目一覧>

遅れの分類	区分	指標名	No.
① (直近の実績値が 基準値よりも 悪化)	基本目標Ⅱ	農業・農村の多面的機能維持のための活動取組面積	16
	基本目標Ⅱ	自然公園利用者数	20
	基本目標Ⅲ	一般廃棄物のリサイクル率	26
	基本目標Ⅲ	海洋ごみ等の発生抑制対策事業に参加するボランティア数	28
	基本目標Ⅳ	騒音に係る類型指定地域内の環境基準達成率（環境騒音）	30
	共通的取組	身近な環境保全活動に取り組んでいる人の割合	40
	共通的取組	今後も協働取組を継続したいと考える団体の割合	42
	共通的取組	指導者が少ないことを課題と考える団体の割合	43
② (達成率 70%未満)	基本目標Ⅰ	木質バイオマスを活用した熱供給、発電事業の実用化	3
	基本目標Ⅲ	1人1日あたりの一般廃棄物排出量	22
	基本目標Ⅳ	市町が設置する一般廃棄物処理施設のダイオキシン類排出量	37
	共通的取組	指導者が少ないことを課題と考える団体の割合【再掲】	43

評価結果（詳細版）については49～51ページに示しています。

進捗状況に遅れがある項目のうち、実績値の推移などをもとに、特に今後取組の強化が必要と考えられるものを基本目標ごとに抜き出して、次に記載しています。

①基本目標Ⅰ「低炭素社会づくり」

指標：木質バイオマスを活用した熱供給、発電事業の実用化（数値目標 No.3）	
状況	今後の対応方針
<ul style="list-style-type: none"> ○平戸市、杵岐市、対馬市で木質バイオマスの活用について検討中。 ○県はバイオマス発電について県内での廃材発生量等の調査を実施。 ○現段階では投資コストと材料の調達価格が見合わない等の理由により、実用化の見通しは立っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○今後とも、関係市町との連携を通じて木質バイオマスを活用したバイオマス発電や、熱供給の実用化等について検討していく。

【備考】 H28目標値1件が未達成のままであり、実用化までには至っていない。

②基本目標Ⅱ「人と自然が共生する地域づくり」

指標：農業・農村の多面的機能維持のための活動取組面積（数値目標 No.16）	
状況	今後の対応方針
<ul style="list-style-type: none"> ○これまでの活動組織のうち、事務の担い手がない等の理由により活動を取り止めた組織があり、前年度から取組面積が減少。 	<ul style="list-style-type: none"> ○事務の集約化を目的とした広域化をさらに推進し、活動組織の復活、新規活動組織の設立を促し、取組面積の拡大を図る。

【備考】 H28は目標を達成していたが、H29に実績値が悪化している（H28：順調→H29：遅れ）。

③基本目標Ⅲ「循環型社会づくり」

指標：1人1日あたりの一般廃棄物排出量（数値目標 No.22） ※直近の実績値：H28	
指標：一般廃棄物のリサイクル率（数値目標 No.25） ※直近の実績値：H28	
状況	今後の対応方針
<ul style="list-style-type: none"> ○1人1日あたりの一般廃棄物排出量は944gと全国値（925g）より多く、特に事業系ごみの排出量が多い。 ○一般廃棄物のリサイクル率は15.6%と全国値（20.3%）より依然として低い。 ○ともに、紙類が遅れの要因となっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・事業系では紙類のうち「直接資源化量」と「集団回収量」の割合が低い。 ・紙類のリサイクル率は5.6%と全国値（9.0%）と格差が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○市町と一体となった推進体制を強化する。 ○今年度から県廃棄物処理計画の改定作業に着手し、市町の意向を十分に踏まえて検討する。

【備考】 進捗に遅れがある項目は全て一般廃棄物に係るもの。

④基本目標Ⅳ「安全・安心で快適な環境づくり」

指標：市町が設置する一般廃棄物処理施設のダイオキシン類排出量（数値目標 No.37）	
状況	今後の対応方針
<p>○全ての対象施設において排出基準は達成。</p> <p>○排出量（合計）は前年度より減少したものの、目標達成には至らず。</p> <p>○ごみ焼却施設数は21施設（県ごみ処理広域化計画での目標：17施設）あるが、平成32年度には17施設（目標値）に集約できる見込み。</p>	<p>○市町と一体となった連携活動体制の強化や広域化処理等も含め、焼却施設の更新・改良等を推進する。</p>

【備考】H28実績値（基準値より悪い値）と比較すると改善したが、達成率は70%未満である。

⑤共通的取組「行動と参画・協働の推進等」

指標：身近な環境保全活動に取り組んでいる人の割合（数値目標 No.40） ※長崎県環境教育等行動計画の指標（行動計画全体の目標）	
状況	今後の対応方針
<p>○依然として基準値（64%）を下回っているものの、平成29年度は58.6%に増加（平成30年度は61.9%）。</p> <p>○年代別では30歳未満の各年代で上昇が見られ、子どもや若い世代への働きかけの効果がみられる。</p>	<p>○今後も子どもを通じた働きかけを継続する。</p> <p>○次期行動計画の策定作業の中で、評価・検証を行い、現状と課題を整理。これらの課題を考慮しながら、具体的な取組内容を検討する。</p> <p><参考> 整理した課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな方々に関心を持ってもらうための取組や工夫、方策の検討が必要 ・誰でも参加しやすい身近な体験活動の創出・充実が必要 など

【備考】進捗に遅れがある項目は全て環境教育に係るもの。長崎県環境教育等行動計画全体の目標である「身近な環境保全活動に取り組んでいる人の割合」により進捗状況を分析。

<進捗に遅れがある項目の評価結果（詳細版）>

【基Ⅰ】 木質バイオマスを活用した熱供給、発電事業の実用化（数値目標No.3）								【担当課：産業労働部新産業創造課】
基準値 （基準年）	最終目標	年度	目標値①	実績値②	②/①	基準値 との比較	進捗状況	進捗状況の分析・今後の対応方針
-	2件 (H31年度)	H28	1件	0件	0%	-	遅れ	[進捗状況の分析] ○県内では平戸市、壱岐市が木質バイオマスエネルギー導入可能性調査を実施し、対馬市が木質バイオマス発電について検討中。また、県はバイオマス発電について県内での廃材発生量等の調査を行ったが具体的な事業の提案には至らなかった。現段階では投資コストと材料の調達価格が見合わないなどといった理由により、実用化の見通しは立っていない。
		H29	-	0件	-	-	遅れ	
		H30	-					
		H31	1件					
		H32						
								[今後の対応方針] ○今後とも関連市町との連携を通じてバイオマス発電や、熱供給の実用化等について検討していく。
【基Ⅱ】 農業・農村の多面的機能維持のための活動取組面積（数値目標No.16）								【担当課：農林部農山村対策室】
基準値 （基準年）	最終目標	年度	目標値①	実績値②	②/①	基準値 との比較	進捗状況	進捗状況の分析・今後の対応方針
25,260ha (H26年度)	27,305ha (H32年度)	H28	25,669ha	25,721ha	100%	○	順調	[進捗状況の分析] ○中山間地域等直接支払は、前年度に対し、取組面積が165ha増となった。多面的機能支払交付金は、事業期間（5年間）終了を迎えた活動組織で、事務の担い手がいけない等の理由により、次期活動の継続を取り止めた組織があり、取組面積は675ha減となり、対前年度510ha減となった。
		H29	26,078ha	25,211ha	96%	×	遅れ	
		H30	26,487ha					
		H31	26,896ha					
		H32	27,305ha					
							[今後の対応方針] ○今後、事務の集約化を目的とした広域化をさらに推進し、活動組織の復活、新規活動組織の設立を促し、取組面積の拡大を図る。	
【基Ⅲ】 ☆自然公園利用者数（数値目標No.20）								【担当課：環境部自然環境課】
基準値 （基準年）	最終目標	年度	目標値①	実績値②	②/①	基準値 との比較	進捗状況	進捗状況の分析・今後の対応方針
14,320千人 (H26年度)	14,896千人 (H32年度)	H28	14,512千人	13,695千人	94%	×	遅れ	[進捗状況の分析] ○目標値には達しなかったものの、前年からの増加数でみると96千人（0.7%）増加の目標に対し、実績は217千人（1.6%）増加と大きく上回っており、熊本地震（平成28年4月）の影響による減少から回復基調にある。今後も伸び率が高いインバウンド対策等の利用促進対策を継続的に図っていく必要がある。
		H29	14,608千人	13,912千人	95%	×	遅れ	
		H30	14,704千人					
		H31	14,800千人					
		H32	14,896千人					
							[今後の対応方針] ○インバウンド対策としては、外国人利用者の視点にたった地域の魅力向上が重要であるため、標識等を外国人利用者にも分かりやすく魅力的な内容へと質的向上を図り、受入環境整備を行う。	
【基Ⅳ】 1人1日あたりの一般廃棄物排出量（数値目標No.22）【削減目標】								【担当課：環境部廃棄物対策課】
基準値 （基準年）	最終目標	年度	目標値①	実績値②	②/①	基準値 との比較	進捗状況	進捗状況の分析・今後の対応方針
955g (H26年度)	886g (H32年度)	H28	932g	944g	47%	○	遅れ	[進捗状況の分析] ○平成28年度の1人1日あたりのごみ排出量は、生活系が全国値より11g少ない635g、事業系が紙類のうち、「直接資源化量」と「集回収量」の割合が低いことなどから、逆に31g多い309gであったことから、全体では944gと全国値（925g）よりも19g多くなっている。（平成29年度の実績は、平成31年3月に把握できる予定）
		H29	921g	※	※	-	遅れ	
		H30	909g					
		H31	897g					
		H32	886g					
							[今後の対応方針] ○今後、県内市町の実態把握・課題抽出に重点を置き、市町と一体となった推進体制を強化し、県と市町が連携した排出抑制活動への転換を図る。また、平成30年度から、県廃棄物処理計画の改定作業に前倒しで着手し、市町の意向を十分に踏まえた検討を実施している。	

【備考】 指標：「☆」・・・長崎県総合計画チャレンジ2020の数値目標と同一指標であるもの
 実績値及び②/①：「※」・・・実績値が今後判明する場合、「-」・・・算出できない場合
 基準値との比較：「○」・・・実績値が基準値以上の場合、「×」・・・実績値が基準値を下回っている場合

第3部 長崎県環境基本計画の進行管理

＜基Ⅲ＞ ☆一般廃棄物のリサイクル率（数値目標No.26）								【担当課：環境部廃棄物対策課】	
基準値 （基準年）	最終目標	年度	目標値①	実績値②	②/①	基準値 との比較	進捗状況	進捗状況の分析・今後の対応方針	
16% (H26年度)	21% (H32年度)	H28	16.5%	15.6%	94%	×	遅れ	[進捗状況の分析] ○昨年度に引き続き、県民・事業者・行政等から構成される「ながさき環境県会議」を中心に、各主体による廃棄物の減量化とリサイクルを促進するための取組を実施しているが、平成28年度は15.6%と全国の20.3%より依然として低い状況にあり、特に紙類のリサイクル率が、県の5.6%に比べて全国が9.0%と格差が大きい。（平成29年度の実績は、平成31年3月に把握できる予定） [今後の対応方針] ○今後、県内市町の実態把握・課題抽出に重点を置き、市町と一体となった推進体制を強化する。	
		H29	16.5%	※	※	—	遅れ		
		H30	17.2%						
		H31	17.2%						
		H32	21%						
＜基Ⅲ＞ ☆海洋ごみ等の発生抑制対策事業に参加するボランティア数（数値目標No.28）								【担当課：環境部廃棄物対策課】	
基準値 （基準年）	最終目標	年度	目標値①	実績値②	②/①	基準値 との比較	進捗状況	進捗状況の分析・今後の対応方針	
24,313人 (H26年度)	29,000人 (H32年度)	H28	25,000人	23,704人	94%	×	遅れ	[進捗状況の分析] ○平成29年度の実績は24,182人で、目標の93%となったが、発生抑制対策事業の実施事業数は目標の104%となった。 [今後の対応方針] ○今後も、海岸漂着物の回収・処理や市町・民間団体等と連携した環境教育や啓発活動などの発生抑制対策を実施する。また、釜山広域市との交流事業の実施状況も踏まえ、韓国における他の自治体との交流拡大について、山口・福岡・佐賀・長崎の各県と韓国の4自治体が個々に取り組んでいた日韓海峡沿岸県市道共同交流事業「日韓海峡海岸漂着ごみ一斉清掃」を通じ、各県や韓国側との連携強化等を検討する。	
		H29	26,000人	24,182人	93%	×	遅れ		
		H30	27,000人						
		H31	28,000人						
		H32	29,000人						
＜基Ⅳ＞ 騒音に係る類型指定地域内の環境基準達成率（環境騒音）（数値目標No.30）								【担当課：環境部地域環境課】	
基準値 （基準年）	最終目標	年度	目標値①	実績値②	②/①	基準値 との比較	進捗状況	進捗状況の分析・今後の対応方針	
89% (H26年度)	95% (H32年度)	H28	91%	85%	93%	×	遅れ	[進捗状況の分析] ○5市2町の158地点で測定した結果、環境基準達成率は86%であった。前年度と比較し若干改善傾向にあるものの未達成である。 [今後の対応方針] ○基準不適合となった要因は、自動車騒音や建設工事等による作業音の影響が主なものであった。そのため、自動車騒音については恒常的な影響が考えられる調査地点の妥当性や対策について該当市町へ確認した結果、調査地点の見直しや騒音対策を検討している状況であった。今後も市町が実施する類型指定地域における環境騒音の経年的な動向を注視していく必要がある。	
		H29	92%	86%	93%	×	遅れ		
		H30	93%						
		H31	94%						
		H32	95%						
＜基Ⅳ＞ 市町が設置する一般廃棄物処理施設のダイオキシン類排出量（数値目標No.37）【削減目標】								【担当課：環境部廃棄物対策課】	
基準値 （基準年）	最終目標	年度	目標値①	実績値②	②/①	基準値 との比較	進捗状況	進捗状況の分析・今後の対応方針	
0.397g-TEQ (H26年度)	0.256g-TEQ (H30年度)	H28	0.327g-TEQ	0.444g-TEQ	0%	×	遅れ	[進捗状況の分析] ○平成29年度は、全ての対象施設（39施設）において排出基準値を下回り、排出量は前年度より0.105g-TEQ/年減少し0.339g-TEQ/年となったが、目標達成には至らなかった。 [今後の対応方針] ○県内市町の実態把握・課題抽出に重点を置き、市町と一体となった推進体制を強化する。連携活動体制の強化や広域化処理等も含めた、焼却施設の更新・改良等を推進する。	
		H29	0.292g-TEQ	0.339g-TEQ	55%	○	遅れ		
		H30	0.256g-TEQ						
		H31							
		H32							

【備考】 指標：「☆」・・・長崎県総合計画チャレンジ2020の数値目標と同一指標であるもの
 実績値及び②/①：「※」・・・実績値が今後判明する場合、「-」・・・算出できない場合
 基準値との比較：「○」・・・実績値が基準値以上の場合、「×」・・・実績値が基準値を下回っている場合

＜共通＞ ☆身近な環境保全活動に取り組んでいる人の割合（数値目標No.40）									[担当課：環境部環境政策課]
基準値 (基準年)	最終目標	年度	目標値①	実績値②	②/①	基準値 との比較	進捗状況	進捗状況の分析・今後の対応方針	
64% (H26年度)	75% (H32年度)	H28	70.2%	56.4%	80%	×	遅れ	[進捗状況の分析] ○依然として基準値を下回っているものの、平成27年度と平成28年度は56%と低迷していた割合が、平成29年度は58.6%と増加している（平成30年度は61.9%）。年代別では30歳未満の各年代で上昇が見られ、子どもや若い世代への働きかけの効果がみられる。 [今後の対応方針] ○今後も子どもを通じた働きかけを継続するとともに、平成30年度に実施している次期県環境教育等行動計画策定作業の中で評価・検証を行い、現状と課題を整理しており、これらの課題を考慮しながら、具体的な取組内容の検討を行う。	
		H29	72.6%	58.6%	80%	×	遅れ		
		H30	75%						
		H31	75%						
		H32	75%						
＜共通＞ 今後も協働取組を継続したいと考える団体の割合（数値目標No.42）									[担当課：環境部環境政策課]
基準値 (基準年)	最終目標	年度	目標値①	実績値②	②/①	基準値 との比較	進捗状況	進捗状況の分析・今後の対応方針	
87% (H26年度)	90% (H32年度)	H28	88%	81%	92%	×	遅れ	[進捗状況の分析] ○今後も協働取組を継続したいと考える団体の割合は基準年から漸減傾向にあるが、学校、地域社会、行政で80%前後の団体が今後も連携したいと回答しており、連携・協働の必要性は一定認識されていると考えられる。 [今後の対応方針] ○他団体や関連施設と連携・協働しやすくなるよう、ネットワークづくりや情報共有の面で支援を継続する。また、平成30年度に実施している次期県環境教育等行動計画策定作業の中で、今後の取組内容の検討を行う。	
		H29	89%	76%	85%	×	遅れ		
		H30	90%						
		H31	90%						
		H32	90%						
＜共通＞ 指導者が少ないことを課題と考える団体の割合（数値目標No.43）									[担当課：環境部環境政策課]
基準値 (基準年)	最終目標	年度	目標値①	実績値②	②/①	基準値 との比較	進捗状況	進捗状況の分析・今後の対応方針	
34% (H26年度)	30% (H32年度)	H28	32%	39%	0%	×	遅れ	[進捗状況の分析] ○指導者が少ないことを課題と考える団体の割合は基準年から新増傾向にあり、引き続き環境保全活動や環境教育等の指導者育成に取り組む必要がある。 [今後の対応方針] OESDやSDGsなどの新しい考え方も活用しながら、身近な環境保全活動を引き出すことができるよう、環境教育を実践するスキルを身につける研修会を継続する。また、平成30年度に実施している次期県環境教育等行動計画策定作業の中で、今後の取組内容の検討を行う。	
		H29	31%	40%	0%	×	遅れ		
		H30	30%						
		H31	30%						
		H32	30%						

【備考】 指標：「☆」・・・長崎県総合計画チャレンジ2020の数値目標と同一指標であるもの

実績値及び②/①：「※」・・・実績値が今後判明する場合、「-」・・・算出できない場合

基準値との比較：「○」・・・実績値が基準値以上の場合、「×」・・・実績値が基準値を下回っている場合

3 施策の平成29年度取組内容（実績）及び平成30年度取組計画

(1) 各施策の実施状況について

本計画に記載されている各施策（200施策）について、担当部局における取組状況を調査しました。このうち6施策が平成29年度までに終期又は中止となりましたが、残りの194施策については、必要に応じて事業内容の見直し・改善等を行いながら、平成30年度も継続して取組を実施しています。

<平成30年度の新たな取組例>

- ・家庭での二酸化炭素排出削減の推進に向け、県民の意識醸成や普及啓発事業として、県内小学生を対象とした「我が家の省エネ日記」の取組。
- ・生ごみ削減や紙ごみ等のリサイクル促進のため、各保健所地区で協議会開催。
- ・若い世代の環境活動への取組促進として、幼児への環境教育や環境活動を実践する指導者を対象とした環境活動指導者養成講座に加え、ESDの視点を取り入れた環境教育を推進する取組として、小・中学校教員を対象とした「ESDカリキュラム・デザイン研修会」（環境省主催・文部科学省協力の講師派遣型研修を活用）開催。

(2) 重点施策の実施状況について

重点プロジェクトは、4つの基本目標を達成するため、特に推進する施策として位置づけられたものであり、環境基本計画だけでなく各種個別計画等も踏まえながら、庁内で横断的な連携を図り、総合的かつ計画的に推進しています。

<重点施策の実施状況>

プロジェクト	方向性と行動目標	H29年度の主な取組内容	H30年度の取組計画	各種個別計画等
雲仙 ↑基本目標↓ プロジェクト	◎未利用資源（再生可能エネルギー関係）の発掘 ◎未利用資源の活用 ◎ジオパーク等地域資源の活用 ◎観光客と宿泊施設が協働した取組	◎島原半島窒素負荷低減対策会議により島原半島内のバイオマス発電に関する情報共有をおこなった。 ◎施設園芸用低コスト木質チップボイラーの現地実証試験結果について関係機関で協議した結果、現時点では、重油ボイラーと大きな差はなかったが、チップ価額の上昇やストックヤードの確保など流通面の課題から、農業分野への普及性は難しいと判断された。 ◎長崎県地域材供給増協議会において、未利用材の需給情報の共有、補助実施。島原地区において、低質木材の生産・運搬コストについて実証試験を行い、課題を整理した。	◎バイオマス関係振興局PT等を活用した情報共有を継続。 ◎試験結果を取りまとめた事例集を作成予定。 ◎資源循環による環境と産業の効果波及促進事業により、民間事業者と連携しながら「家畜ふん尿等によるバイオガス発電事業＋液肥利用」システムの構築に取り組む。 ◎島原半島満喫プロジェクト推進事業により、魅力的なコンテンツづくり等を進め、島原半島地域の活性化を図る。	長崎県 まち・ひと・しごと 総合戦略など
生物多様性保全 ↑基本目標↓ プロジェクト	◎自然環境の監視と種の保護・生態系の保全の強化 ◎人とふるさとの自然とのつながりの回復 ◎多様な地域資源の活用 ◎生物多様性の恵みにふれる機会の提供 ◎生物多様性に関する情報の整備と環境に配慮した取組	◎県レッドリスト掲載種等のモニタリング調査を実施した。 ◎森林ボランティア支援センターを中心とした取組により、森林環境税を活用し、植樹や森林整備など森林ボランティア団体の活動を支援した。 ◎島原半島ジオパークにおいて、留学生を対象にしたモニターツアーを実施し、外国人目線で地域の魅力をSNS等により情報発信を行った。 ◎西海国立公園内の主要な利用施設において、老朽化が進んだトイレや展望所等の再整備を行った。	◎県レッドリスト掲載種等のモニタリング調査や外来生物等の生息・生育状況の把握、外来生物リストの作成等を実施する。 ◎森林ボランティア支援センターを中心とした取組により、森林環境税を活用し、植樹や森林整備など森林ボランティア団体の活動を支援する。 ◎ジオパーク活用等についての認識を島原半島全体で共有するため、ジオパークシンポジウムを開催する。 ◎西海国立公園内の老朽化が進んだ施設の再整備等により、自然とのふれあいの促進を図る。	長崎県 生物多様性保全戦略

プロジェクト	方向性と行動目標	H29年度の主な取組内容	H30年度取組計画	各種個別計画等
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">「ゴミゼロながさき」プロジェクト</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">（基本目標Ⅲ）</p>	<p>◎廃棄物の発生・排出抑制</p> <p>◎廃棄物の再資源化の推進</p> <p>◎廃棄物の適正処理の推進</p> <p>◎漂流・漂着ごみ対策の推進</p>	<p>○「ゴミゼロながさき実践計画」に基づき、ながさき環境県民会議の各種取組みを実施した。</p> <p>○食品ロス削減推進協議会を新たに設置し開催したほか、食品ロス削減のホームページの開設や「九州食べきり協力店」の募集等、食品ロス削減対策を実施した。</p> <p>○PCB廃棄物の全保管事業者に対し立入検査を実施し、「長崎県PCB廃棄物処理計画」に基づく適正保管及び処理を推進した。</p> <p>○県災害廃棄物処理計画及び市町災害廃棄物処理計画作成マニュアルを策定した。</p> <p>○「立入検査マニュアル」に基づき、計画的な立入検査を実施した。</p> <p>○廃棄物適正処理推進指導員を中心に市町や警察等と協働し、定期的な不法投棄の監視を実施した。</p> <p>○「長崎県海岸漂着物対策推進計画」に基づき、海岸漂着物の回収処理や発生抑制対策を実施した。</p>	<p>○ながさき環境県民会議で各団体との連携を図りながら、「ゴミゼロながさき実践計画」の各種取組を実施する。</p> <p>○持続可能なフードバンクシステムを構築するため、食品ロス削減推進協議会を活用して、ガイドラインを作成する。</p> <p>○PCB廃棄物の全保管事業者に対する立入検査を実施し、適正保管及び早期適正処理を徹底させる。</p> <p>○平成32年度までの処理期間となっている高濃度PCB廃棄物の一部（安定器類等）について、掘り起こし調査を実施する。</p> <p>○市町災害廃棄物処理計画の策定支援として、各保健所地区において説明会等を開催する。</p> <p>○引き続き、定期的な立入検査や不法投棄等監視パトロールにより、不適正処理、不法投棄の未然防止、早期発見を図る。</p> <p>○国、市町、民間団体等と連携を図りながら、海岸漂着物の回収処理や発生抑制対策及び国際協力事業を実施する。</p>	<p>長崎県 廃棄物処理計画</p>
	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">「基本目標Ⅳ」開鎖性水域対策プロジェクト</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">大村湾再生</p>	<p>◎山から海まで一体となった里海づくり</p> <p>◎生物多様性の保全による里海づくり</p> <p>◎賑わいのある里海づくり</p> <p>◎みんなで取り組む里海づくり</p>	<p>○第3期行動計画に基づき各事業の推進を図った。</p> <p>○流域別下水道整備総合計画に基づき、窒素、リンの高度処理を含めた公共下水道の整備を進めた。</p> <p>○大村湾内の貧酸素水塊・底質悪化等への対策で海底耕うんを実施しており、底質調査の協力を行っている。</p> <p>○時津町沿岸において、再生砂による浅場造成工事に着手するとともに、二枚貝の生息状況等を確認するため、大村市沿岸では事後調査、時津町沿岸では事前調査を実施した。</p> <p>○大村湾環境改善に取り組む活動団体のPR実施。</p> <p>○大村湾浮遊ゴミ除去対策事業への補助を実施。</p>	<p>○第3期行動計画に基づく取組を推進するとともに、これまでの各施策の効果を検証し、新たな対策等を関係機関と調整しながら次期行動計画を策定する。</p> <p>○流域別下水道整備総合計画に基づき、窒素、リンの高度処理を含めた公共下水道の整備を進める。</p> <p>○大村湾の底質の状況を把握するため、水産部と連携して調査を実施する。</p> <p>○時津町沿岸における浅場造成工事の完了後、二枚貝の生息状況を確認するため事後調査を実施する。</p> <p>○大村湾環境改善のため活動団体との連携を図り、湾沿岸の環境美化に努めるとともに、住民の環境保全意識の向上に努める。</p> <p>○大村湾浮遊ゴミ除去対策事業への補助を実施する。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">諫早湾干拓調整池環境対策</p>		<p>◎水質保全対策</p> <p>◎自然豊かな水辺空間づくり</p> <p>◎環境の監視・調査</p>	<p>○下水道・集合処理施設・合併浄化槽に係る整備事業の推進、関係市に対する生活排水対策事業の補助金交付。</p> <p>○工場・事業場の排水対策として、監視指導の実施。</p> <p>○環境保全型農業の推進（水田・畑地の施肥・農薬削減対策や裸地対策）</p> <p>○ISEネットを中核として環境活動の取組（環境イベントや清掃活動の実施）を実施。</p> <p>○諫早湾干拓調整池中央干陸地のヨシの生育への影響等の調査を実施。</p>	<p>○第2期諫早湾干拓調整池水辺環境の保全と創造のための行動計画を継続し、推進会議の枠組みの中で、効果的な対策を実施する。</p> <p>○これまでの各施策の効果を再度検証し、新たな対策等を九州農政局など関係機関と調整しながら次期行動計画を策定する。</p>

4 今後の取組方針

進捗に遅れがある項目について改善を図るには、市町、事業者、NPOなどの関係団体等や他部局との連携・協働が必要不可欠です。本計画の目標達成のためには、担当部局だけではなく、市町、事業者、NPOなどの関係団体や庁内関係部局等も含め、今後の対応方針（49～51ページ）により連携を図りながら取組を進めていく必要があります。

その他進捗状況が順調若しくは回復傾向にある項目についても、今後も引き続き担当部局を中心に事業内容の見直し・改善等を行いながら、最終目標の達成に向け、取組を進めていく必要があります。

<参考> 数値目標の進捗状況（個別表）

基本目標Ⅰ 低炭素社会づくり									
1 地球温暖化防止対策（緩和策）の推進									
①温室効果ガスの排出抑制									
指標		基準年	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標（年度）	No.
☆J-クレジットの認証量（累計） 【累計目標】	目標値①	/	3,533t	5,533t	5,533t	7,533t	8,533t	8,533t (H32年度)	1
	実績値②	3,533t (H26年度)	6,716t	8,145t				進捗状況	担当課
	②/①	/	190%	147%				順調	環境部 環境政策課
余熱の農業等への二次利用実証数	目標値①	/	-	-	-	1事例	-	1事例 (H31年度)	2
	実績値②	-	0事例	0事例				進捗状況	担当課
	②/①	/	-	-				-	産業労働部 新産業創造課
木質バイオマスを活用した熱供給、 発電事業の実用化	目標値①	/	1件	-	-	1件	-	2件 (H31年度)	3
	実績値②	-	0件	0件				進捗状況	担当課
	②/①	/	0%	-				遅れ	産業労働部 新産業創造課
再エネ由来燃料電池の農業生産現場 や福祉施設等での実証	目標値①	/	-	-	-	1か所	-	1か所 (H31年度)	4
	実績値②	-	0か所	0か所				進捗状況	担当課
	②/①	/	-	-				-	産業労働部 新産業創造課
☆県内におけるエネルギー消費量 【削減目標】	目標値①	/	110千TJ	106千TJ	103千TJ	100千TJ	97千TJ	97千TJ (H32年度)	5
	実績値②	122千TJ (H24年度)	※	※				進捗状況	担当課
	②/①	/	※	※				-	環境部 環境政策課
☆家庭部門における電気使用量 【削減目標】	目標値①	/	18.8億kWh	18.3億kWh	17.8億kWh	17.3億kWh	16.8億kWh	16.8億kWh (H32年度)	6
	実績値②	20.7億kWh (H24年度)	※	※				進捗状況	担当課
	②/①	/	※	※				-	環境部 環境政策課
未来環境条例に基づき特定事業者から 提出された温室効果ガス排出削減 計画書削減目標を達成した事業者割合	目標値①	/	30%	30%	30%	30%	30%	30% (毎年度)	7
	実績値②	27.8% (H25年度)	77%	77%				進捗状況	担当課
	②/①	/	256%	256%				順調	環境部 環境政策課
県立学校における省エネルギー型の 照明器具・空調設備更新校数	目標値①	/	5校	5校	5校	5校	5校	5校 (毎年度)	8
	実績値②	-	6校	5校				進捗状況	担当課
	②/①	/	120%	100%				順調	教育庁 教育環境整備課

【備考】 指標：「☆」・・・長崎県総合計画チャレンジ2020の数値目標と同一指標であるもの
 実績値及び②/①：「※」・・・実績値が今後判明する場合、「-」・・・算出できない場合

第3部 長崎県環境基本計画の進行管理

基本目標Ⅰ 低炭素社会づくり									
1 地球温暖化防止対策（緩和策）の推進									
①温室効果ガスの排出抑制									
指標		基準年	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標（年度）	No.
交通の分散化、ボトルネックの解消等による道路交通の二酸化炭素排出削減量	目標値①	/	-	-	-	1,305t-CO2/年		1,305t-CO2/年（H31年度）	9
	実績値②	-	-	-				進捗状況	担当課
	②/①	/	-	-				-	土木部 都市政策課
②温室効果ガスの吸収機能の保全と強化									
指標		基準年	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標（年度）	No.
間伐面積（撤出間伐）	目標値①	/	1,690ha	1,770ha	1,850ha	1,930ha	2,000ha	2,000ha（H32年度）	10
	実績値②	1,223ha（H26年度）	1,714ha	1,776ha				進捗状況	担当課
	②/①	/	101%	100%				順調	農林部 森林整備室
2 気候変動への適応策の検討及び推進									
①気候変動による影響の軽減策等の検討及び推進									
指標		基準年	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標（年度）	No.
☆気候変動による影響への適応策の策定	目標値①	/	-	策定	/	/	/	策定（H29年度）	11
	実績値②	-	-	策定	/	/	/	進捗状況	担当課
	②/①	/	-	-	/	/	/	達成	環境部 環境政策課
基本目標Ⅱ 人と自然が共生する地域づくり									
1 生物多様性の保全									
①希少種の保護や野生鳥獣等の管理対策									
指標		基準年	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標（年度）	No.
☆生物多様性保全事業によって守られた希少野生動植物の種数【累計目標】	目標値①	/	20種	25種	30種	35種	40種	40種（H32年度）	12
	実績値②	10種（H26年度）	20種	25種				進捗状況	担当課
	②/①	/	100%	100%				順調	環境部 自然環境課
指標		基準年	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標（年度）	No.
生物多様性保全に資する野生動植物等の保全のための事業実施数【累計目標】	目標値①	/	43件	46件	49件	52件	55件	55件（H32年度）	13
	実績値②	27件（H26年度）	43件	46件				進捗状況	担当課
	②/①	/	100%	100%				順調	環境部 自然環境課
指標		基準年	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標（年度）	No.
県内のシカの捕獲頭数	目標値①	/	10,000頭	10,000頭	10,000頭	10,000頭	10,000頭	10,000頭（毎年度）	14
	実績値②	7,653頭（H24～26年度平均）	9,434頭	9,411頭				進捗状況	担当課
	②/①	/	94%	94%				やや遅れ	環境部 自然環境課
指標		基準年	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標（年度）	No.
自然公園等巡視回数（職員による巡視回数）	目標値①	/	216回	216回	216回	216回	216回	216回（毎年度）	15
	実績値②	264回（H26年度）	218回	233回				進捗状況	担当課
	②/①	/	100%	107%				順調	環境部 自然環境課

【備考】指標：「☆」・・・長崎県総合計画チャレンジ2020の数値目標と同一指標であるもの
 実績値及び②/①：「※」・・・実績値が今後判明する場合、「-」・・・算出できない場合

基本目標Ⅱ 人と自然が共生する地域づくり									
1 生物多様性の保全									
②里地里山、里海の保全と活用									
指標		基準年	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標(年度)	No.
農業・農村の多面的機能維持のための活動取組面積	目標値①	/	25,669ha	26,078ha	26,487ha	26,896ha	27,305ha	27,305ha (H32年度)	16
	実績値②	25,260ha (H26年度)	25,721ha	25,211ha				進捗状況	担当課
	②/①	/	100%	96%				遅れ	農林部 農山村対策室
指標		基準年	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標(年度)	No.
☆漁場整備面積(累計) 【累計目標】	目標値①	/	662k㎡ (20)	682k㎡ (20)	702k㎡ (20)	722k㎡ (20)	662k㎡ (20)	742k㎡ (H32年度)	17
	実績値②	622k㎡ (H26年度)	676k㎡ (20)	695k㎡ (20)				進捗状況	担当課
	②/①	/	135%	121%				順調	水産部 漁港漁場課
指標		基準年	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標(年度)	No.
☆大村湾沿岸に再生砂で造成する浅場に生息が見込まれる二枚貝の個体数	目標値①	/	-	80万個体	80万個体	160万個体	160万個体	160万個体 (H32年度)	18
	実績値②	-	-	185万個体				進捗状況	担当課
	②/①	/	-	231%				順調	環境部 地域環境課
指標		基準年	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標(年度)	No.
海砂採取の年間限量	目標値①	/	270万m³	250万m³	250万m³			250万m³ (H30年度)	19
	実績値②	270万m³ (H25年度)	219万m³	236万m³				進捗状況	担当課
	②/①	/	100%	100%				順調	土木部 監理課
2 自然の恵みがもたらす地域資源の活用									
①多様なニーズに対応した施設整備と情報発信									
指標		基準年	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標(年度)	No.
☆自然公園利用者数	目標値①	/	14,512千人	14,608千人	14,704千人	14,800千人	14,896千人	14,896千人 (H32年度)	20
	実績値②	14,320千人 (H26年度)	13,695千人	13,912千人				進捗状況	担当課
	②/①	/	94%	95%				遅れ	環境部 自然環境課
②地域資源を活用した交流の拡大									
指標		基準年	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標(年度)	No.
☆島原半島ジオパーク認定ガイド派遣によるジオツアー等の実施件数	目標値①	/	50件	55件	60件	65件	68件	68件 (H32年度)	21
	実績値②	45件 (H26年度)	57件	59件				進捗状況	担当課
	②/①	/	114%	107%				順調	環境部 自然環境課

【備考】指標：「☆」・・・長崎県総合計画チャレンジ2020の数値目標と同一指標であるもの
 実績値及び②/①：「※」・・・実績値が今後判明する場合、「-」・・・算出できない場合

第3部 長崎県環境基本計画の進行管理

基本目標Ⅲ 循環型社会づくり									
1 ゴミゼロながさきの推進									
① ゴミゼロ県民運動の展開									
指標		基準年	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標(年度)	No.
1人1日あたりの一般廃棄物排出量【削減目標】	目標値①	/	932g	921g	909g	897g	886g	886g(H32年度)	22
	実績値②	955g(H26年度)	944g	※				進捗状況	担当課
	②/①	/	47%	※				遅れ	環境部 廃棄物対策課
2 廃棄物の適正処理と利活用の促進									
① 廃棄物の適正処理の推進									
指標		基準年	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標(年度)	No.
産業廃棄物処理業者の基準適合率(立入検査時における指導不要の業者数の割合)	目標値①	/	95%	95%	95%	95%	95%	95%(H32年度)	23
	実績値②	94%(H26年度)	96%	97%				進捗状況	担当課
	②/①	/	101%	102%				順調	環境部 廃棄物対策課
指標		基準年	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標(年度)	No.
産業廃棄物排出事業者研修会の参加者数	目標値①	/	260人	260人	260人	260人	260人	260人(毎年度)	24
	実績値②	262人(H26年度)	277人	284人				進捗状況	担当課
	②/①	/	106%	109%				順調	環境部 廃棄物対策課
指標		基準年	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標(年度)	No.
優良産廃処理業者の認定を受けた県内業者数	目標値①	/	12業者	14業者	16業者	18業者	20業者	20業者(H32年度)	25
	実績値②	7業者(H26年度)	16業者	17業者				進捗状況	担当課
	②/①	/	133%	121%				順調	環境部 廃棄物対策課
② 廃棄物の再資源化の推進									
指標		基準年	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標(年度)	No.
☆一般廃棄物のリサイクル率	目標値①	/	16.5%	16.5%	17.2%	17.2%	21%	21%(H32年度)	26
	実績値②	16%(H26年度)	15.6%	※				進捗状況	担当課
	②/①	/	94%	※				遅れ	環境部 廃棄物対策課
指標		基準年	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標(年度)	No.
産業廃棄物のリサイクル率	目標値①	/	62%	63%	64%	65%	66%	66%(H32年度)	27
	実績値②	60%(H26年度)	※	※				進捗状況	担当課
	②/①	/	※	※				-	環境部 廃棄物対策課
③ 漂流・漂着ごみ対策の推進									
指標		基準年	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標(年度)	No.
☆海洋ごみ等の発生抑制対策事業に参加するボランティア数	目標値①	/	25,000人	26,000人	27,000人	28,000人	29,000人	29,000人(H32年度)	28
	実績値②	24,313人(H26年度)	23,704人	24,182人				進捗状況	担当課
	②/①	/	94%	93%				遅れ	環境部 廃棄物対策課

【備考】指標：「☆」・・・長崎県総合計画チャレンジ2020の数値目標と同一指標であるもの
 実績値及び②/①：「※」・・・実績値が今後判明する場合、「-」・・・算出できない場合

基本目標Ⅳ 安全・安心で快適な環境づくり									
1 大気環境の保全									
①広域的汚染への対策の推進									
指 標		基準年	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標（年度）	No.
大気環境基準の達成率（県内46測定局で常時監視した大気汚染物質6物質の環境基準達成率の平均値）	目標値①	/	80%	81%	82%	83%	85%	85% (H32年度)	29
	実績値②	78% (H26年度)	85.5%	86.7%				進捗状況	担当課
	②/①	/	106%	107%				順調	環境部 地域環境課
③騒音・振動・悪臭対策の推進									
指 標		基準年	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標（年度）	No.
騒音に係る類型指定地域内の環境基準達成率（環境騒音）	目標値①	/	91%	92%	93%	94%	95%	95% (H32年度)	30
	実績値②	89% (H26年度)	85%	86%				進捗状況	担当課
	②/①	/	93%	93%				遅れ	環境部 地域環境課
2 水環境の保全									
①海域・河川・湖沼・地下水の水質保全、改善対策の推進									
指 標		基準年	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標（年度）	No.
☆水質汚濁に係る環境基準（海域COD）の達成率（海域水質調査地点数に対する環境基準達成地点の割合）	目標値①	/	78%	80%	82%	84%	85%	85% (H32年度)	31
	実績値②	76% (H26年度)	85.5%	86.8%				進捗状況	担当課
	②/①	/	109%	108%				順調	環境部 地域環境課
水質汚濁に係る環境基準（海域全窒素及び全磷）の達成率	目標値①	/	68%	70%	72%	74%	75%	75% (H32年度)	32
	実績値②	65% (H22～26年度平均)	45%	72.7%				進捗状況	担当課
	②/①	/	66%	103%				順調	環境部 地域環境課
☆大村湾の水質（COD 75%値平均） 【削減目標】	目標値①	/	2.0mg/L	2.0mg/L	2.0mg/L	2.0mg/L	2.0mg/L	2.0mg/L (H32年度)	33
	実績値②	2.5mg/L (H26年度)	2.1mg/L	2.0mg/L				進捗状況	担当課
	②/①	/	80%	100%				順調	環境部 地域環境課
☆諫早湾干拓調整池の水質（COD 75%値平均） 【削減目標】	目標値①	/	-	-	-	-	5.0mg/L	5.0mg/L (H32年度)	34
	実績値②	7.9mg/L (H26年度)	7.4mg/L	7.4mg/L				進捗状況	担当課
	②/①	/	-	-				-	環境部 地域環境課
②発生源対策の推進									
指 標		基準年	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標（年度）	No.
☆汚水処理人口普及率	目標値①	/	80.5%	81.6%	82.7%	83.8%	85%	85% (H32年度)	35
	実績値②	78.1% (H26年度)	79.5%	80.2%				進捗状況	担当課
	②/①	/	98%	98%				やや遅れ	環境部 水環境対策課

【備考】指標：「☆」・・・長崎県総合計画チャレンジ2020の数値目標と同一指標であるもの

実績値及び②/①：「※」・・・実績値が今後判明する場合、「-」・・・算出できない場合

第3部 長崎県環境基本計画の進行管理

基本目標Ⅳ 安全・安心で快適な環境づくり									
3 環境保健の推進									
②有害物質に対する健康対策の推進									
指 標		基準年	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標(年度)	No.
吹付けアスベストの使用のおそれがある建築物の所有者等に対する個別説明実施回数	目標値①	/	20回	20回	20回	20回	20回	20回(毎年度)	36
	実績値②	-	35回	37回				進捗状況	担当課
	②/①	/	175%	185%				順調	土木部 建築課
③化学物質等の環境リスク対策の推進									
指 標		基準年	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標(年度)	No.
市町が設置する一般廃棄物処理施設のダイオキシン類排出量【削減目標】	目標値①	/	0.327g-TEQ	0.292g-TEQ	0.256g-TEQ			0.256g-TEQ(H30年度)	37
	実績値②	0.397g-TEQ(H26年度)	0.444g-TEQ	0.339g-TEQ				進捗状況	担当課
	②/①	/	0%	55%				遅れ	環境部 廃棄物対策課
4 快適で美しいまちの保全									
①良好な景観の形成と保全									
指 標		基準年	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標(年度)	No.
☆景観計画策定団体数(累計)【累計目標】	目標値①	/	13市町	14市町	15市町	16市町	17市町	17市町(H32年度)	38
	実績値②	9市町(H26年度)	14市町	14市町				進捗状況	担当課
	②/①	/	125%	100%				順調	土木部 都市政策課
指 標		基準年	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標(年度)	No.
「ごみの投げ捨て等防止重点地区」の散らかごみの割合(地区指定前と比較した散らかごみの割合)【削減目標】	目標値①	/	12%	11%	10%	10%	10%	10%(H32年度)	39
	実績値②	14%(H26年度)	9%	3%				進捗状況	担当課
	②/①	/	250%	366%				順調	環境部 廃棄物対策課
環境保全のための共通的取組									
1 行動と参画・協働の推進									
①環境保全活動、環境保全の意欲の増進及び環境教育の推進									
指 標		基準年	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標(年度)	No.
☆身近な環境保全活動に取り組んでいる人の割合	目標値①	/	70.2%	72.6%	75%	75%	75%	75%(H32年度)	40
	実績値②	64%(H26年度)	56.4%	58.6%				進捗状況	担当課
	②/①	/	80%	80%				遅れ	環境部 環境政策課
指 標		基準年	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標(年度)	No.
環境教育等の1団体当たり延べ参加者数	目標値①	/	1,300人	1,350人	1,400人	1,400人	1,400人	1,400人(H32年度)	41
	実績値②	1,215人(H26年度)	1,211人	1,243人				進捗状況	担当課
	②/①	/	93%	92%				やや遅れ	環境部 環境政策課

【備考】指標：「☆」・・・長崎県総合計画チャレンジ2020の数値目標と同一指標であるもの
 実績値及び②/①：「※」・・・実績値が今後判明する場合、「-」・・・算出できない場合

環境保全のための共通取組									
1 行動と参画・協働の推進									
②協働取組の推進									
指 標		基準年	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標（年度）	No.
今後も協働取組を継続したいと考える団体の割合	目標値①	/	88%	89%	90%	90%	90%	90% (H32年度)	42
	実績値②	87% (H26年度)	81%	76%				進捗状況	担当課
	②/①	/	92%	85%				遅れ	環境部 環境政策課
③環境保全のための人材育成									
指 標		基準年	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標（年度）	No.
指導者が少ないことを課題と考える団体の割合 【削減目標】	目標値①	/	32%	31%	30%	30%	30%	30% (H32年度)	43
	実績値②	34% (H26年度)	39%	40%				進捗状況	担当課
	②/①	/	0%	0%				遅れ	環境部 環境政策課
2 各種施策の基盤となる施策の充実									
①環境配慮の推進									
指 標		基準年	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標（年度）	No.
県の機関による環境物品等の調達割合	目標値①	/	100%	100%	100%	100%	100%	100% (毎年度)	44
	実績値②	99.5% (H26年度)	99.9%	99.9% (暫定値)				進捗状況	担当課
	②/①	/	99%	99%				やや遅れ	環境部 環境政策課
指 標		基準年	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標（年度）	No.
環境保全協定締結事業所の協定内容遵守率	目標値①	/	100%	100%	100%	100%	100%	100% (毎年度)	45
	実績値②	100% (H26年度)	100%	100%				進捗状況	担当課
	②/①	/	100%	100%				順調	環境部 地域環境課
指 標		基準年	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標（年度）	No.
有機・特別栽培の実面積	目標値①	/	1,724ha	1,801ha	1,887ha	1,968ha	2,000ha	2,000ha (H32年度)	46
	実績値②	1,609ha (H26年度)	1,858ha	1,943ha				進捗状況	担当課
	②/①	/	107%	107%				順調	農林部 農業経営課

【備考】 指標：「☆」・・・長崎県総合計画チャレンジ2020の数値目標と同一指標であるもの
 実績値及び②/①：「※」・・・実績値が今後判明する場合、「-」・・・算出できない場合